



2019年10月26日（土） 14時～15時

リージョンプラザのインドアスタジアムで福祉・介護・健康フェアが行われ、セミナーブースで市民向けに普及啓発を行いました。

○テーマ

「住み慣れた地域で暮らし続けるために、今、できること」

普及啓発部会の部会員から川田委員・坂本委員・斎藤委員の3名、在宅医療推進センターの相澤コーディネーター、入退院時支援部会の金澤委員からもご協力頂き、合計5名で座談会を行いました。

○当日の様子

当日は56名の方からご参加頂きました。上越市・妙高市の高齢化の実態や介護が必要になる要因について、医師、歯科医師、ケアマネなどの各専門職の立場から説明を行いました。



また、日頃から、いざという時のために自分がどうしたいのかについて周り話し合いをしておくことの大切さや、心掛けておきたいことなどについても、委員の皆さんの実生活で感じている身近な話から、「我が事」として考えるきっかけをいただきました。

ステージ上の委員の皆さんは、最初は緊張？されていたと思いますが、専門職として市民の方に関わっている一人ひとりの「思い」が伝わる座談会でした。

参加者からは、温かい気持ちになり、あっという間の1時間だったと感想をいただきました。

歯がないロバが入れ歯を入れるとどうなる？ 座談会では、ロバの話から口腔ケアの大切さを認識し、最後にみんなで記念のロバポーズ！

